

所 報

氷見市教育総合センター

〒935-0016 氷見市本町 4-9

(氷見市教育文化センター内)

TEL 0766-74-8221 (代)

FAX 0766-72-8122

e-mail kyouikukenkkyu@city.himi.lg.jpホームページ [http://www.city.himi.toyama.jp/hp/
menu000000500/hpg000000416.htm](http://www.city.himi.toyama.jp/hp/menu000000500/hpg000000416.htm)

大川小学校を訪ねて

小学校校長会

会 長 屋 鋪 善 史

東日本大震災では石巻市立大川小学校の多くの児童や教員が津波の犠牲となった。この小学校では地震の後、校庭に避難し児童を保護者に引き渡していたが、裏山に避難するか近くの橋のたもとに避難するか結論を出せないまま時間が経過していた。やがて、「もうすぐ大津波が来る」との情報伝わり、児童と教師が橋のたもとへと避難し始めた。とたん、近くの北上川を遡上してきた巨大津波が彼らを襲ったのだ。

私は、なぜ児童をすぐ近くの裏山に避難させなかったのか疑問であった。当初の報道では「裏山の木が余震で倒れるのではないかと躊躇した」とあったが、もしも自分がその場にいたらどのような判断を下していただろうか。

そこでこの夏、東北の被災地や大川小学校へ行ってみることにした。深夜の高速バスで仙台に向かい、そこからはレンタカーを利用した。大川小学校に着くと、教員と思われる人たちが幾組も訪れていた。遠巻きに校舎を眺め話込む人たち、校舎の周りを静かに歩く人たち、裏山を仰ぎ眺める人たちと、どの人も心重く沈痛な面持ちであった。絶えることのない多くの生花や供物に囲まれた慰霊のための母子像に手を合わせた後、歩きながら校舎を見た。がれきは取り除かれていたが、2階建ての弓形の建物自体は津波の被害を受けた当時のままであった。裏山に近づき、驚いた。過去に大きな地滑りがあったのか、急斜面の山肌に大きな地滑り防止工事がしてあったのだ。余震で裏山が崩落したり、倒木したりする危険性を肌で感じた。どこに避難するか判断することの難しさを実

感した。その後、大川小学校に別れを告げ、学校から5km下流の北上川の河口に向かって車を走らせた。津波の報道写真とはあまりにも異なり、穏やかな表情を見せる北上川を見ると一層やるせない気持ちになった。

一方、釜石では多くの小中学生が避難をし、ほとんど助かったことを考えると、大川小学校の危機管理マニュアルに津波を想定した適切な2次避難先が明記されていなかったことが悔やまれる。大震災の被害を大きくしたのは、多くの人たちがこれまでの経験に頼り、その経験以上の災害を予測する想像力に欠けていたからだろう。

しかし、想像力が必要なことは防災危機にだけに言えることではない。今、学校ではいじめの防止、解消が課題となっているが、このいじめの背景には相手の気持ちを思い描けない、想像できないことが原因としてあるのではないだろうか。相手の思いを想像し、それに寄り沿うような気遣いができる子どもを育てていくことがいじめの防止、解消につながると考える。また、想像力は子どもたちだけでなく、大人とりわけ私たち教員にとっても大切なことだと思う。学校で起こり得る様々な危機を予測したり、子どもたちや保護者の思いや願い、悩みをいち早く感じとったりする能力、すなわち想像力を高め、教育の充実につなげたいものである。

南三陸町の防災対策庁舎跡にも立ち寄り、今なお多くの生花が手向けられている慰霊の場に祈りを捧げ、帰途についた。

南部中学校区での小中連携教育の取組

美化ボランティア活動

朝日丘小学校6年生と南部中学校の全校生徒が協力して「私たちの住む地域を私たちの手で守る」ために毎年祇園祭の翌朝にゴミ拾いを行っています。今年は7月15日（日）午前6時半に市民会館前に集まり、クラスごとに手分けをして道端に落ちていたゴミを拾いました。市民会館前に集まったたくさんのゴミ袋を見て、生徒たちは奉仕することの充実感、楽しさ、気持ちよさを感じていたように思います。



＜川沿いや街中のゴミを拾う南部中生徒、朝日丘小児童＞

T Tによる外国語活動

南部中学校の英語科教諭は、毎週水曜日の午後には朝日丘小学校、木曜日の午後には十二町小学校で外国語活動の乗り入れ授業を実施しています。毎回、乗り入れ授業の前には小学校側と打合せを行っています。そして、小学校の担任教諭がT1、南部中学校の英語科教諭がT2として、ALTとともにきめ細やかな外国語活動が行われています。児童は毎時間、明るく元気に外国語活動に取り組んでいます。



＜十二町小学校での外国語活動＞

ゼロメディア運動

南部中学校区の小・中学校では、3校のPTAの協力のもと、ゼロメディア運動に取り組んでいます。ゼロメディア運動とは、テレビやパソコン、ゲーム等の利用時間を少なくしようとする取組です。ゼロメディア運動の目的は、「①健康：生活習慣を整えて心と体を休める」「②学習面：学習時間を増やす」「③心情面：家族の一員としての役割を果たし、触れ合いを図る」です。実施期間は南部中学校の定期考査が始まるまでの1週間とし、年間に5回実施します。第2回ゼロメディア運動後の保護者の感想には次のようなものがありました。「家族みんなで食事をとり、会話する時間を増やした。触れ合う時間を多くしたことでゲームをする時間を減らすことができた。（小学校保護者）」「夜9時以降はテレビを見ない、パソコンは1日1時間と決めて取り組んだ。その結果、学習時間が増えるなど、効果があってよかった。（中学校保護者）」

※ 今年度のゼロメディア運動は、昨年度南部中学校育友会と生徒代表によるゼロメディア座談会を行ったことが基盤となっています。その後、昨年度末に南部中学校、朝日丘小学校、十二町小学校のPTA執行部の合同会議を通して、3校のPTAの協力のもと、ゼロメディア運動に取り組むことになりました。

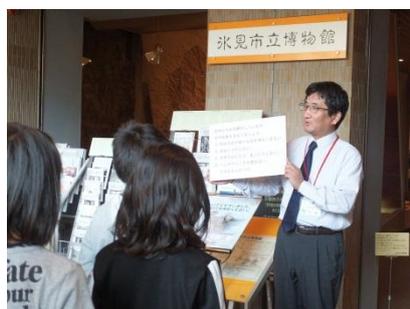
1 / 2 成人式 市立博物館・市立図書館見学

氷見の教育基本方針推進事業「夢や希望に向かって自分らしく！」の取組として小学校4年生を対象に、下記の事業趣旨の基に実施しました。

- ① 見る、聞くなどの五感を伴った見学活動を通して、郷土理解や郷土への愛着、さらには学習意欲の向上を目指す。
- ② 公共施設の利用を通して、規範意識や公共ルールを具体的な場面を通して学ぶ。
- ③ 図書カードの発行申請及びカードの受領を通して、10歳としての自覚を高め、高学年への新たな意欲や公民的資質を高める。

市立博物館見学

始めに博物館の利用の仕方の注意等について聞いた後、職員の方から展示物について説明を聞き、昔の道具や生活の様子についての3学年の学習を振り返っていました。



市立図書館見学

図書館利用者カード交付申請書を児童自ら書き、カードを交付してもらいました。また、図書館の本を2階の学習室で読んだり、読み聞かせボランティア「いずみの会」の方から読み聞かせを聞いたりしました。書庫の見学では、蔵書の多さや移動する本棚の仕組みに驚いたようでした。



児童の感想

- ・市立はく物館にいきました。昔の人が使っていたとてもきちょうな物がかざってあって、昔の人がどのような生活をして、どのような苦ろうをして生きていたかがよく分かりました。
- ・図書カードを作ってもらい自分の手にカードのがったときは、とてもうれしかったです。なぜかという、大人に近づけたと思ったからです。
- ・「いずみの会」の人に「うばすて山」という長い話の読み聞かせをしていただきました。おぼえておられてすごいなと思いました。
- ・ぼくは、博物館や図書館を利用して、多くの人が勉強するために使う場所であることが分かりました。だから、めいわくにならないようにルールは必要だと思いました。ぼくは、公共しせつのルールを守る大人になりたいと思います。

～～～防災教育に取り組む～～～

防災教育研修会 期日 8月30日(木)実施

講師 群馬大学大学院工学研究科

教授 片田 敏 孝 先生

演題 想定外を生き抜く力を育む防災教育

～釜石市津波防災教育に学ぶ～



東日本大震災の津波襲来時に、学校管理下にあった釜石市の約3000人の児童生徒がほぼ全員無事避難できました。背景には、日頃の防災教育があり、その指導に10年以上携わられた片田教授から、釜石市の事例を基に防災教育の取組の話をお聞きすることができました。

＜避難3原則＞

- ①「想定にとらわれるな」…………… 行政の防災はあくまでも想定外力に基づくもの。その想定を超える事態も当然あり得る。
- ②「最善を尽くせ」…………… 大いなる自然の振る舞いの中でできることは、その状況下で最善を尽くすことだけである。
- ③「率先避難者たれ」…………… 非常事態時、人は避難するという意志決定ができない。いざというときには、まず自分が率先して避難すること。その姿を見て、他の人も避難するようになり結果的に多くの人を救うことが可能となる。

本年度、市内全小中学校の教育計画に防災教育が記載され、取り組まれています。今回の研修を活かして、子どもたちが「自らの命を自ら守る」ために必要な能力や資質の向上を図る指導を一層充実していきたいものです。

～「親を学び伝える学習プログラム」を用いた親学び実施中～

学 校 名	実施日	講座実施会名	対 象	活用エピソード名
朝日丘小	6月13日	学習参観	1学年保護者	あなたの家の朝のあいさつは・・・?
比美乃江小	7月28日	親子活動	1学年保護者	家庭と学校の役割
宮 田 小	6月17日	親子活動	1学年保護者	規範意識が低いのは、おとな?子ども?
窪 小	7月28日	親子活動	1学年保護者	子ども同士のけんかに親がかかわり
湖 南 小	6月23日	親子活動	1学年保護者	子ども同士のけんかに親がかかわり
十二町小	6月17日	P T A研修会	全学年保護者	子ども同士のけんかに親がかかわり
上 庄 小	6月10日	学年懇談会	1学年保護者	子ども同士のけんかに親がかかわり
明 和 小	8月18日	学年活動	1学年保護者	あなたの朝のあいさつは?
速 川 小	7月23日	学期末保護者会	全学年保護者	いつまでも子どもと想っていたら
久 目 小	8月26日	P T A活動	全保護者 5・6年児童	運動会は誰の競争? 子ども同士のけんかに親がかかわり
海 峰 小	6月24日	親子活動	1学年保護者	かかわり方を考えよう!
灘 浦 小	6月17日	学校保健委員会	1学年保護者	子ども同士のけんかに親がかかわり
南 部 中	6月6日	P T A研修会	P T A執行部役員	家族の暮らし方を考えてみよう!

上記の表以外に、宮田小学校は3月の学年懇談会で、南部中学校、北部中学校、西部中学校、十三中学校、灘浦中学校、西條中学校は12月の入学説明会で開催される予定です。